



新卒者研修「静脈注射Ⅲ-a」

～安全で確かな静脈注射を身につけよう～



新卒者を対象に「静脈注射Ⅲ-a」の研修を実施しました。研修者は、集合研修前に各部署で「安全で確かな静脈注射を身につけよう」の講義DVDを聴講しました。実技演習では、研修者が患者役、看護師役となり、事例をもとに、患者への説明、刺入部位の選択、静脈留置針の刺入・固定・抜針の一連の流れを行いました。研修者は、末梢静脈留置針の挿入は、患者が苦痛を伴う看護技術の一つであり、安全でかつ確実に挿入できるよう、今後も知識と技術をより高めていきたいと実感していました。

事前に講義DVDを配布し、研修者は、血管確保に伴う合併症やスキントピア予防のテープの貼り方、剥がし方などを学びました。



院内で使用されている静脈留置針の構造について確認しました。



患者への分かりやすい説明を意識していました。



安全に穿刺するための刺入部位として神経や動脈の走行などを考えました。



滴下速度の調整やキョクイファイナルチェックでの確実な投与についても改めて確認しました。



静脈留置針の構造やフィンガーグリップ、プッシュタブの押し進め方を確認しました。



★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当